

2025年度 第3四半期 連結決算説明資料

2026年2月13日

HIRANO TECSEED

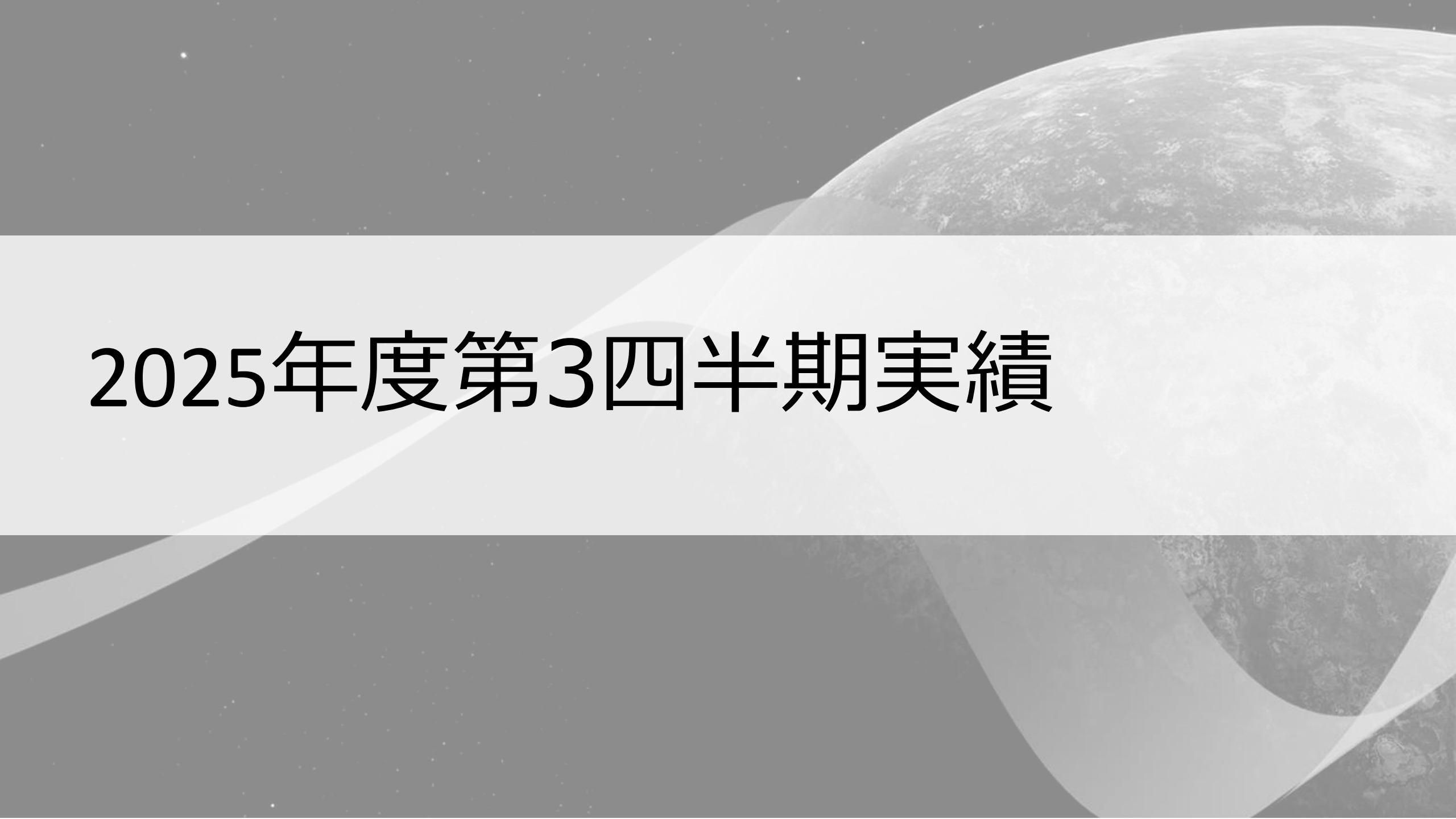
- 決算ハイライト
- 2025年度第3四半期実績
- 2025年度セグメント別第3四半期実績
- 2025年度見通し
- Topics
- 参考資料

社名	株式会社ヒラノテクシード
代表者	取締役社長：岡田 薫
資本金	1,847,821千円（2025年12月末時点）
所在地	奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1
グループ会社 (出資比率100%)	ヒラノ技研工業株式会社、株式会社ヒラノK&E、HIRANO AMERICA,INC.
従業員数	316 名 （連結： 418 名）（2025年12月末時点）
銘柄コード	6245（機械）

2025年度 3Q実績		
	3Q実績	前年同期比
売上高	25,673百万円	-13,298百万円 -34.1%
営業利益	1,745百万円	-84百万円 -4.6%
営業利益率	6.8%	+2.1pts

2025年度 業績予測		
	2025年度予測	前期比
売上高	31,000百万円	-17,355百万円 -35.9%
営業利益	2,100百万円	418百万円 + 24.9%
営業利益率	6.8%	+3.3pts
ROE	4.2%	+1.8pts

トピックス	
2025年度 3Q実績	✓ エネルギー分野を中心とした北米における本体及び付帯工事が進捗、国内の本体案件に加え、国内外の改造・移設等が貢献するも、仕事量が減少したことにより売上高は前年同期比で減収となった。 ✓ EV市場の停滞は続くものの、仕向地変更、保留案件の再開、部品・改造案件、エネルギー分野以外の案件消化のほか、受注条件の見直しが進んだことにより、利益の下振れが一定程度緩和された ✓ 顧客の設備投資計画の見直しにより、複数の案件において総額7,229百万円のキャンセルが発生し、第3四半期末の受注残高は減少
2025年度 業績予測	✓ EV市場の減速が続いており、定置用蓄電池など車載以外の用途展開を模索する動きが強まっている ✓ 北米市場を中心とした外部環境の変化により売上計画を引き下げる ✓ プロジェクト遂行体制見直し、原価管理の徹底、業務プロセス効率化を進め、利益面では前回予想を上回る見込み

The background features a grayscale image of the moon's surface, showing craters and lunar terrain. Overlaid on this are several large, semi-transparent, light gray geometric shapes, including a large circle and various overlapping triangles and polygons, creating a modern, abstract design.

2025年度第3四半期実績

2025年度3Q決算概要

2025年度 3Q実績

(単位:百万円)	24年度3Q a	25年度3Q b	増減 b-a	増減率 (b-a)/a
受注高	25,305	15,702	-9,602	-37.9%
売上高	38,972	25,673	-13,298	-34.1%
営業利益	1,830	1,745	-84	-4.6%
営業利益率	4.7%	6.8%	+2.1pts	-
経常利益	2,067	1,841	-226	-11.0%
経常利益率	5.3%	7.2%	+1.9pts	-
純利益	1,504	1,365	-138	-9.2%
純利益率	3.9%	5.3%	+1.5pts	-

2025年度 3Q概況

- ✓ 受注高：既存のEV向け機械装置の特需は落ち着き、付随する付帯工事の需要も減少、化工機関連機器で大口受注はあるが全体的な受注量は減少
- ✓ 売上高：塗工機関連機器ではリチウムイオン二次電池向け製品の受注残高消化のほか、納期延期などで工程が停滞していた案件の進捗、付帯工事、国内案件の消化による貢献はあるものの、北米市場を中心とした外部環境の変化により売上計画を引き下げ減収で着地
- ✓ 営業利益：EV市場向け装置の生産が順調に推移し、顧客交渉により仕向地変更に関わる追加費用の一部回収や保留されていた案件の進捗、国内案件の生産消化、受注条件の見直しを進めたことで、営業利益率は向上
- ✓ 経常利益：前年度に一時的な営業外収益が発生していたが、当期は有形固定資産廃棄損を計上した結果、経常利益は減少
- ✓ 純利益：経常利益減少により純利益も減少

2025年度3Q セグメント別業績

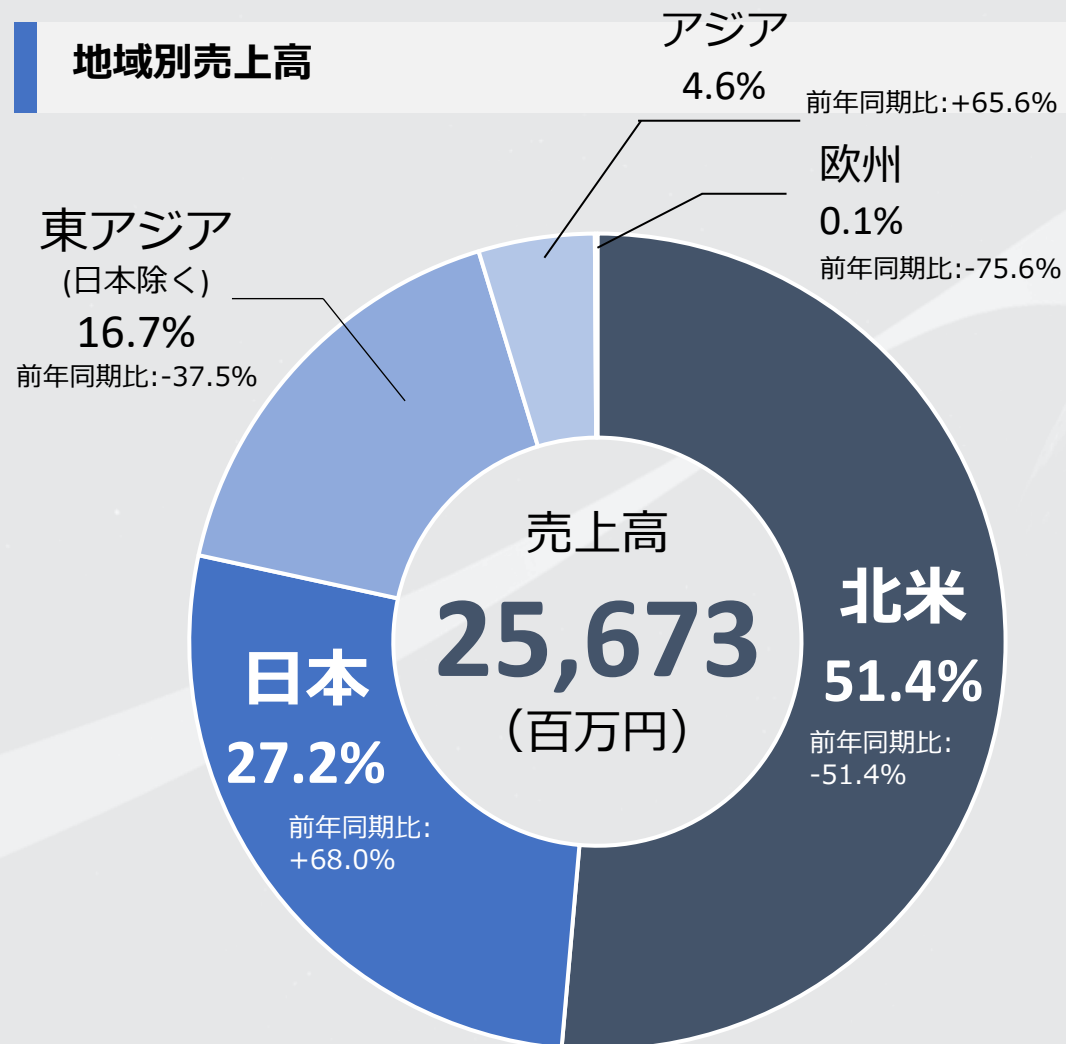


(単位：百万円)		24年度3Q	25年度3Q	増減	増減率
		a	b	b-a	(b-a)/a
塗工機関連機器	受注高	20,847	9,393	-11,454	-54.9%
	売上高	33,935	20,460	-13,475	-39.7%
	セグメント利益 (率)	2,455 (7.2%)	2,353 (11.5%)	-101 (+4.3pts)	-4.1%
化工機関連機器	受注高	3,441	5,453	+2,011	+58.4%
	売上高	3,790	4,067	+276	+7.3%
	セグメント利益 (率)	181 (4.8%)	710 (17.5%)	+529 (+12.7pts)	+292.0%
その他・調整	受注高	1,016	856	-160	-15.8%
	売上高	1,246	1,146	-99	-8.0%
	セグメント利益 (率)	250 (20.1%)	0 (0.04%)	-249 (-20.0pts)	-99.8%
連結合計	受注高	25,305	15,702	-9,602	-37.9%
	売上高	38,972	25,673	-13,298	-34.1%
	セグメント利益	2,886	3,064	+178	+6.2%
	全社費用	1,056	1,319	+262	+24.9%
	営業利益*1 (率)	1,830 (4.7%)	1,745 (6.8%)	-84 (+2.1pts)	-4.6%

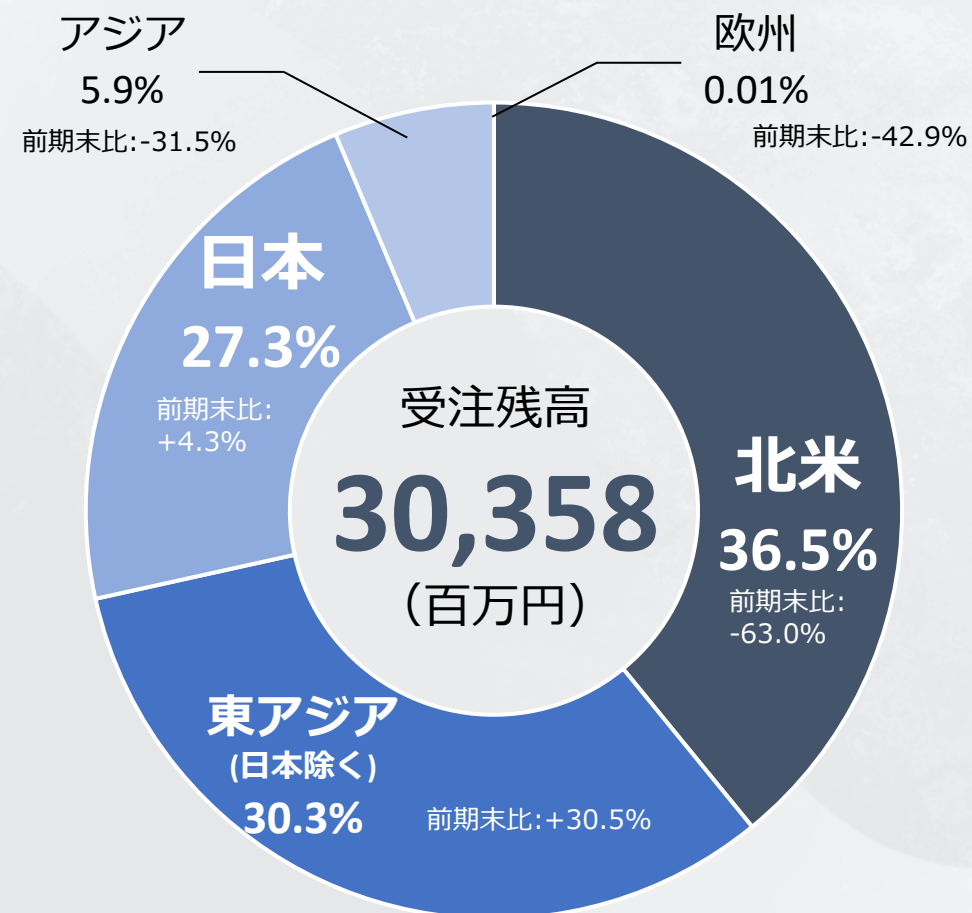
*1：報告セグメントに帰属しない一般管理費控除後

2025年度3Q 地域別 売上高比率 / 受注残高比率

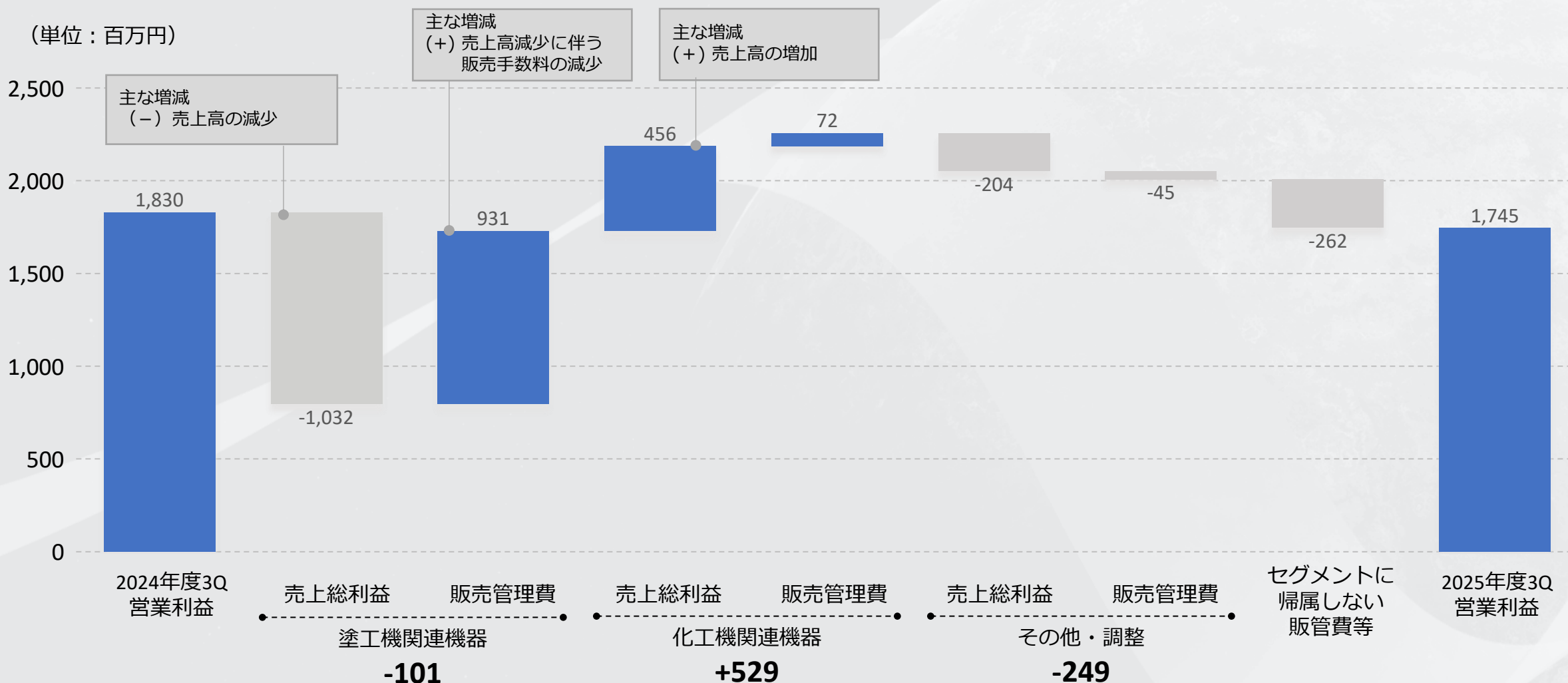
地域別売上高



地域別受注残高



2025年度3Q 営業利益の増減要因



2025年度3Q 貸借対照表

(単位：百万円)	2024年度	2025年3Q	増減額
	金額	金額	
流動資産	48,505	44,307	-4,198
固定資産	13,187	14,657	+1,469
有形固定資産	7,437	7,764	+327
無形固定資産	416	338	-78
投資その他の資産	5,333	6,554	+1,220
総資産	61,693	58,964	-2,728
流動負債	22,505	18,339	-4,165
固定負債	947	1,463	+516
純資産	38,240	39,161	+920
自己資本比率	62.0%	66.4%	+4.4pts

資産（2024年度末比）

流動資産 4,198百万円減少

- ✓ 売上債権及び契約資産が663百万円減少
- ✓ 前渡金が1,033百万円減少
- ✓ 現金及び預金が1,664百万円減少
- ✓ 未収消費税が1,048百万円減少

固定資産 1,469百万円増加

- ✓ 有形固定資産が327百万円増加
- ✓ 無形固定資産が78百万円減少
- ✓ 投資その他の資産が1,220百万円増加

負債（同）

流動負債 4,165百万円減少

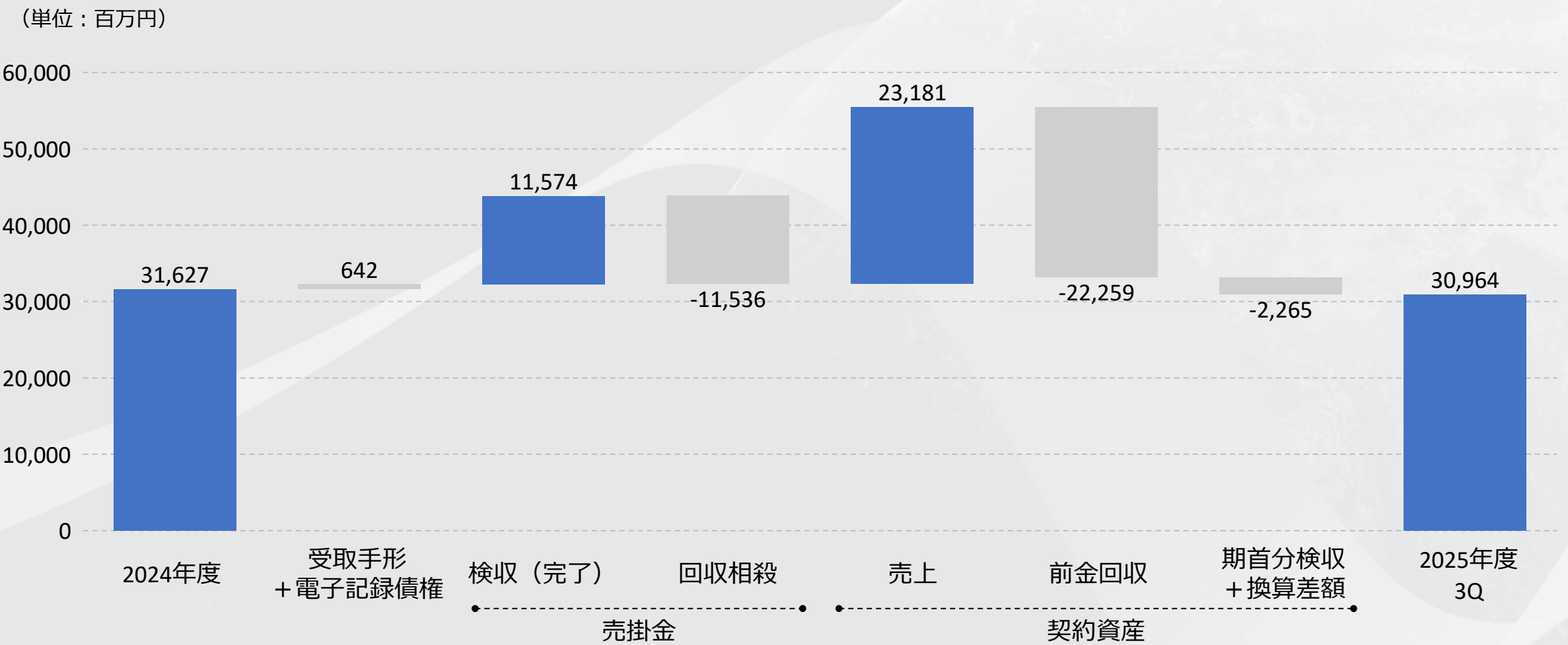
- ✓ 仕入債務が2,843百万円減少
- ✓ 短期借入金が1,850百万円減少

固定負債 516百万円増加

純資産（同）

純資産 920百万円増加

受取手形、売掛金及び契約資産 + 電子記録債権の増減



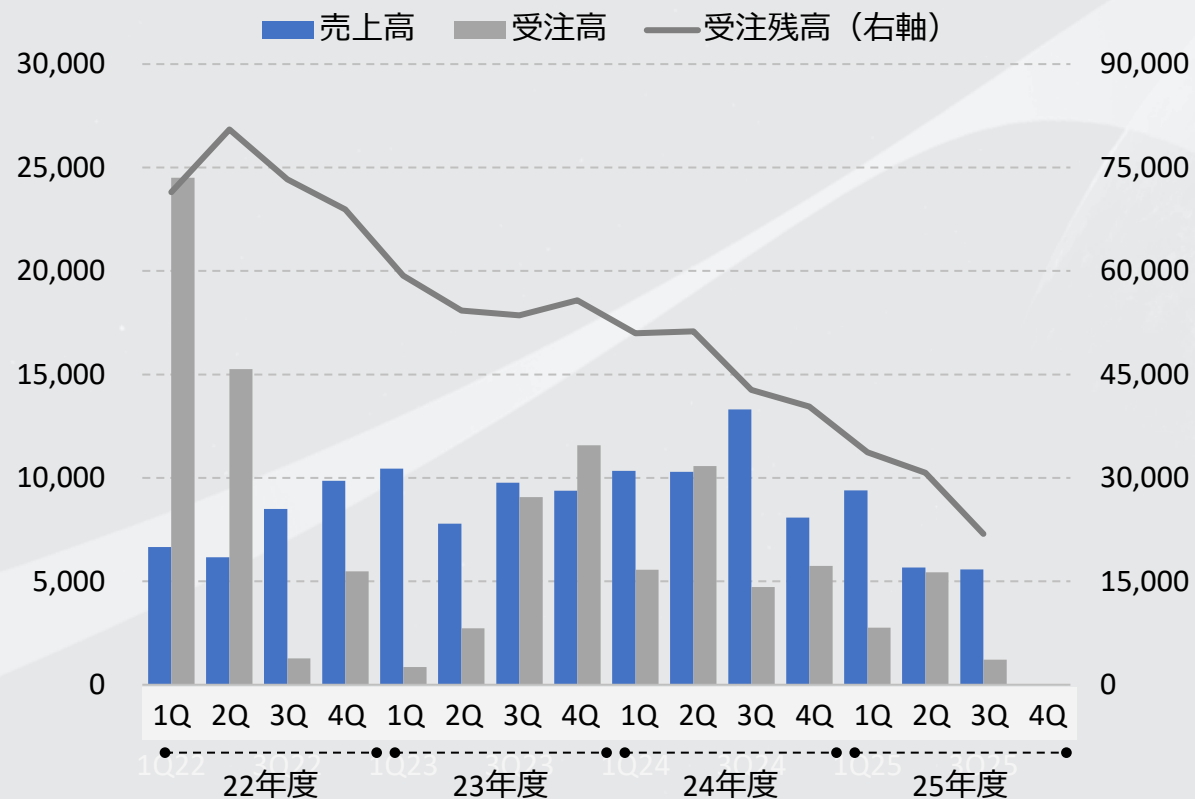


2025年度セグメント別 第3四半期実績

塗工機関連機器部門の受注残高・売上高・受注高の推移

塗工機関連機器部門の受注残高・売上高・受注高推移

(単位：百万円)



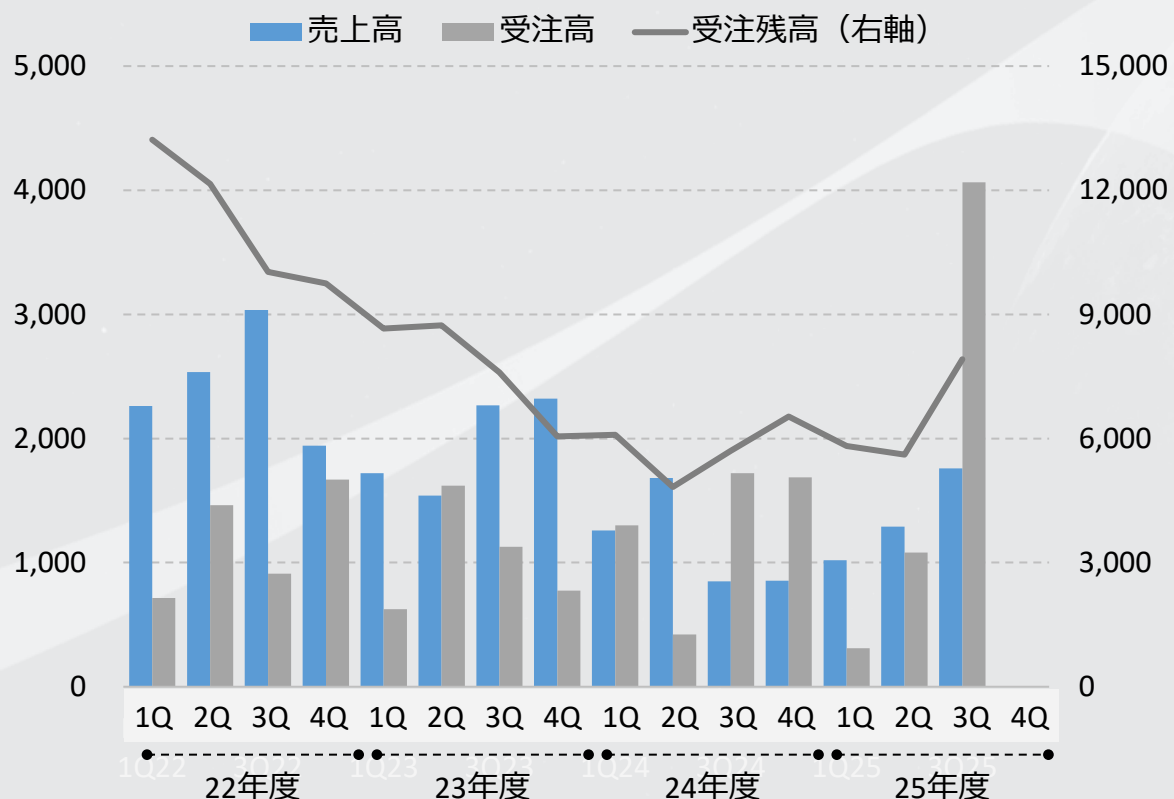
塗工機関連機器部門のハイライト

- ✓ 米国の通商政策等の影響はあるものの、米国内への生産回帰の動きは鈍い
 - ✓ エネルギー市場においては、定置型蓄電池など一部の市場が今後拡大するとみられるものの、EV市場においては停滞
 - ✓ 光学フィルム等の引き合いはあるものの、設備投資に対しては全体的に慎重な動きもみられる
- 市場環境
- ✓ 設備投資は様子見の傾向がみられ、装置の受注は厳しい状況が継続しており、顧客要請により所掌範囲を拡大した付帯工事の需要も減少
 - ✓ 機械本体以外に納期の短い既設機械の改造や部品受注獲得にも注力
- 受注高
- ✓ エネルギー関連を中心に、光学フィルム等の受注案件も消化
 - ✓ 付帯工事（機械装置の架台や電気工事など）も、受注案件消化が進む
- 売上高

化工機関連機器部門の受注残高・売上高・受注高の推移

化工機関連機器部門の受注残高・売上高・受注高推移

(単位：百万円)



化工機関連機器部門のハイライト

市場環境

- ✓ MLCCやポリイミドフィルム等の電子材料用途の成膜装置を中心に一定の投資意欲はあるが、米国の通商政策等の影響により設備投資に対して慎重な動きが続いている

受注高

- ✓ ポリイミドフィルム用の大型装置、セラミック材料関連向け成膜装置等の受注を獲得
- ✓ 国内や東南アジア、中国地域を中心に引き続き新規受注獲得を目指していく

売上高

- ✓ 電子材料用途向けの成膜装置を主力としつつも、1Qは生産量が少ない状況が続いた
- ✓ 2QはMLCC向けと産業資材等の生産が売上に貢献
- ✓ 3Qは産業資材、セラミックなどが貢献

2025年度見通し

2025年度業績見通し

	2024年度実績	2025年度計画	前期比	
(単位：百万円)	a	b	増減 b-a	増減率 (b-a)/a
売上高	48,355	31,000	-17,355	-35.9%
営業利益	1,681	2,100	+418	+24.9%
営業利益率	3.5%	6.8%	+3.3pts	-
経常利益	1,894	2,000	+105	+5.6%
経常利益率	3.9%	6.5%	+2.5pts	-
当期純利益	905	1,600	+694	+76.6%
当期純利益率	1.9%	5.2%	+3.3pts	-
ROE	2.4%	4.2%	+1.8pts	
1株当たり年間配当金	90円	84円	-6円	
中間	45円	42円	-3円	
期末	45円	42円	-3円	

Topics



「CONVERTECH2026」に出展

1月28日(水)～1月30日(金)東京ビッグサイトにて開催された「CONVERTECH2026」に出展いたしました

業界に先駆けて「ペロブスカイト型太陽電池」の専用塗工装置の実機展示いたしました。

併せて、当社技術者から、「ロールtoロールペロブスカイト太陽電池用塗工装置～基礎から量産、そして広がる応用分野とビジネス展望」をテーマに講演を実施し大きな反響をいただきました。

<ペロブスカイト型太陽電池とは>

政府は「第7次エネルギー基本計画」に再生可能エネルギーの導入拡大とともに、次世代技術の本格推進を重点としており、2040年までにペロブスカイト型太陽電池を20ギガワット導入する目標を掲げています。普及にあたりコストや耐久性といった様々な課題の解決が求められています。弊社の新技術を展開することによりお客様の課題解決を目指してまいります。



ペロブスカイト型太陽電池塗工装置の特徴

当社独自開発の業界初新技術について詳しく紹介いたしました

＜ペロブスカイト型太陽電池塗工装置の特徴＞

複数の特許取得済み、特許出願中の新技術を搭載しています。

- ✓ 従来の装置メーカーの立ち位置を超え、産学連携により製品の開発から携わり、その結果を基に開発～装置に落とし込みした装置であり、新技術を数多く搭載
- ✓ 1 m幅を塗布できる開発機 兼 生産機として利用できる
- ✓ 一足飛びに大型機の設備導入が難しいユーザーには別途、検証機も用意している
- ✓ 製品ロスを低減するための適切な塗工条件が瞬時に導きだせるデジタルツイン技術を搭載

ペロブスカイト型太陽電池塗工装置はテスト機として、今後弊社実験施設「テクニカム」に設置し顧客の実証実験に活用し、技術蓄積と商品開発に活用してまいります。

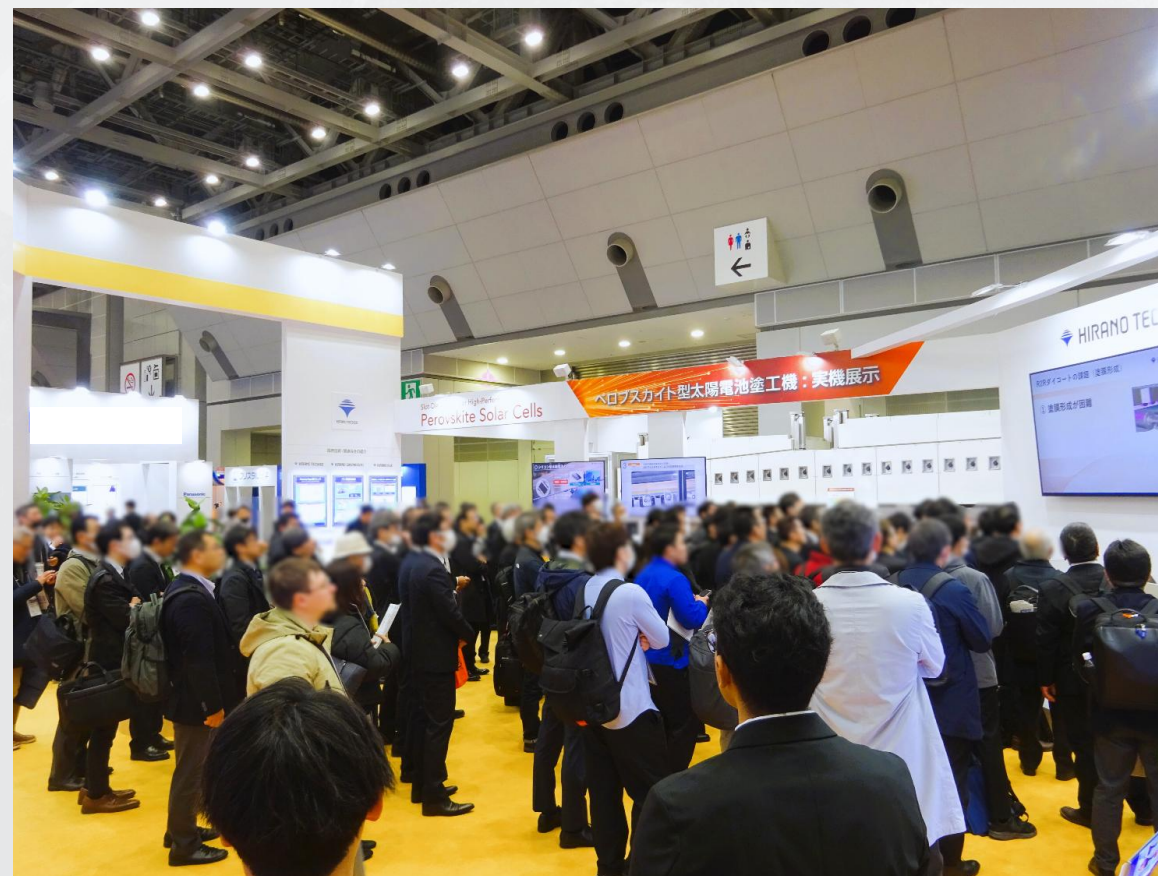


(ペロブスカイト型太陽電池塗工装置 実機展示)

事業開発を模索されている様々なお客様から反響をいただきました

＜お客様からいただいたご意見の一部＞

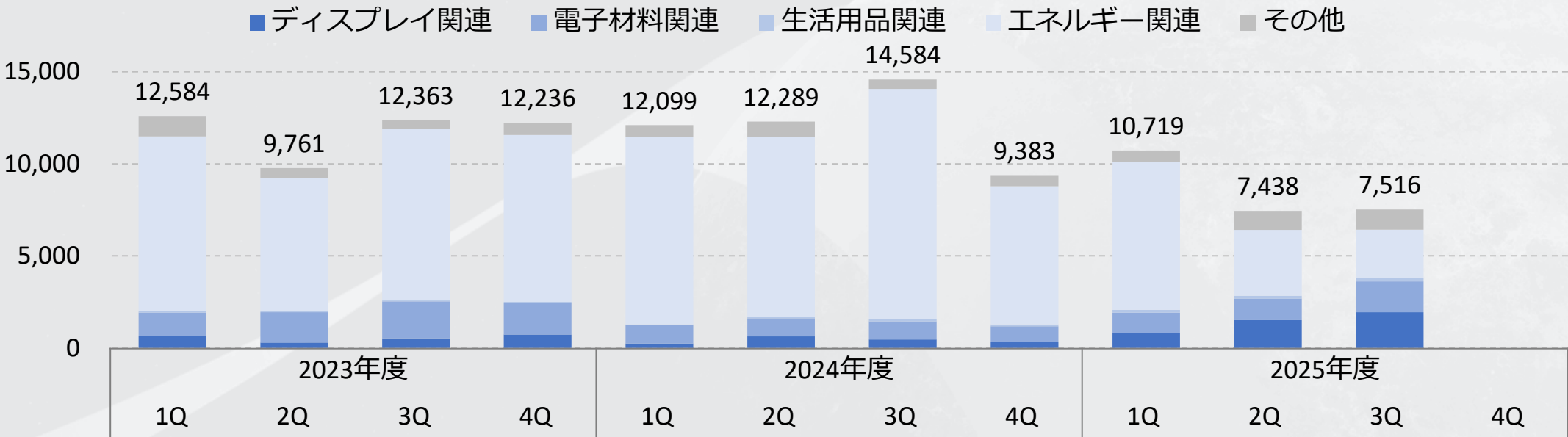
- ✓ 最新のトレンドを汲み取って開発されている先進的な技術である
- ✓ この新技術を既に納入済の設備にも展開できないか
- ✓ ペロブスカイト太陽電池の現状について知ることができた
- ✓ 産学連携で開発に携わり製造プロセスを突き詰めて装置に落とし込んでいることは今までにない取り組み、もっと詳細に知りたい
- ✓ 今後の展開や他の設備への技術展開なども楽しみである
- ✓ ロール to ロール技術によるペロブスカイト型太陽電池の生産設備は実用化に向けた大きな一歩になる



參考資料

用途別セグメント① 売上高（四半期ごと）

(単位：百万円)



売上高比率

	2023年度	2024年度	2025年度
その他	8.7%	5.5%	3.7%
エネルギー関連	75.4%	73.8%	75.5%
生活用品関連	0.7%	0.8%	0.4%
電子材料関連	10.0%	16.9%	16.2%
ディスプレイ関連	5.3%	3.0%	4.3%

	2023年度	2024年度	2025年度
その他	5.5%	5.4%	6.6%
エネルギー関連	83.9%	79.7%	85.6%
生活用品関連	0.3%	0.7%	1.0%
電子材料関連	8.2%	8.0%	6.7%
ディスプレイ関連	2.1%	5.1%	3.1%

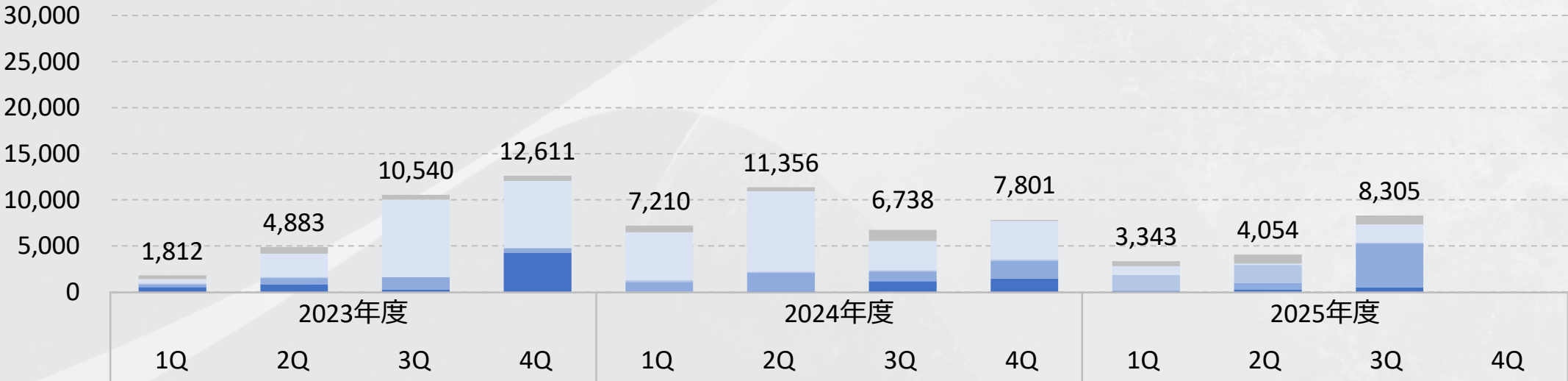
	2023年度	2024年度	2025年度
その他	6.4%	5.7%	13.9%
エネルギー関連	80.1%	75.0%	48.0%
生活用品関連	1.5%	2.1%	2.1%
電子材料関連	10.3%	15.8%	22.3%
ディスプレイ関連	7.6%	20.3%	25.9%

用途別セグメント② 受注高（四半期ごと）



(単位：百万円)

■ ディスプレイ関連 ■ 電子材料関連 ■ 生活用品関連 ■ エネルギー関連 ■ その他



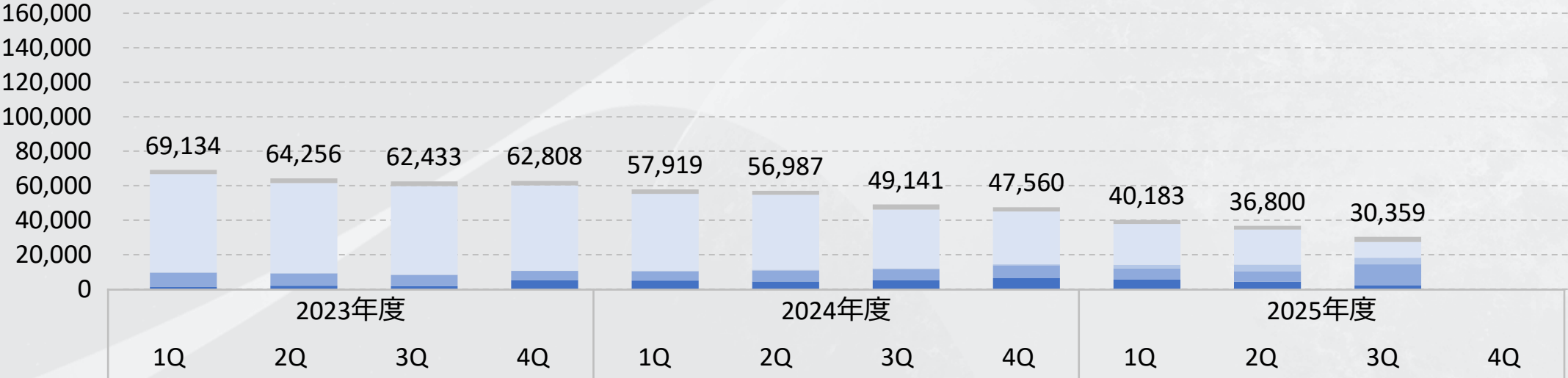
受注高比率

その他	23.0%	14.6%	4.7%	4.4%	10.0%	3.9%	17.8%	1.1%	15.8%	23.5%	11.9%
エネルギー関連	24.1%	52.2%	79.8%	57.6%	72.3%	76.5%	47.0%	53.5%	28.3%	4.0%	23.5%
生活用品関連	6.5%	2.1%	0.3%	0.4%	2.4%	1.2%	2.4%	2.2%	49.5%	48.7%	1.4%
電子材料関連	16.3%	13.7%	12.8%	3.9%	15.2%	17.7%	15.5%	24.7%	3.6%	16.9%	57.3%
ディスプレイ関連	30.1%	17.4%	2.4%	33.7%	0.1%	0.7%	17.3%	18.5%	2.8%	6.9%	6.0%

用途別セグメント③ 受注残高（四半期ごと）

(単位：百万円)

■ ディスプレイ関連 ■ 電子材料関連 ■ 生活用品関連 ■ エネルギー関連 ■ その他



受注残高比率

その他	3.6%	4.1%	4.3%	4.1%	4.6%	4.0%	6.0%	5.1%	5.9%	6.2%	7.1%
エネルギー関連	82.2%	81.2%	82.1%	78.7%	76.8%	76.2%	69.4%	64.7%	58.9%	55.0%	40.6%
生活用品関連	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.6%	0.8%	0.9%	1.1%	5.0%	10.4%	12.5%
電子材料関連	11.7%	11.0%	10.3%	8.3%	9.2%	11.1%	13.0%	15.7%	16.2%	16.4%	30.0%
ディスプレイ関連	2.2%	3.2%	2.9%	8.5%	8.8%	8.0%	10.7%	13.4%	14.0%	12.0%	9.8%

本資料は情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。

このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性及び公正性を保証するものではなく、当社は掲載された情報またはデータの誤りまたは不正確に関しまして、一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。予告なしに内容が変更または廃止される場合があります。

2026年2月13日

この資料に関するお問い合わせは

株式会社ヒラノテクシード コーポレート部門(TEL0745-57-0681)まで